

筑波大学 人文・文化学群

比較文化学類

令和5年度

私費外国人留学生入試 試験問題

小論文

試験時間 10:00～11:30 (90分)

注意事項

1. 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子1部と600字詰め答案用紙2部が配布されていることを確認してください。不備があるときは、手を挙げてください。
3. 答案用紙（白色）と下書き用紙（黄色）を切り離してください。
4. 答案用紙（白色）2枚に、「学群、学類、氏名、受験番号」を記入してください。下書き用紙（黄色）2枚には記入する必要はありません。
5. 問題は2問あります。問1の解答を1枚目の答案用紙に、問2の解答を2枚目の答案用紙に記入してください。問の番号を答案用紙の上部にある横に長い長方形の枠内に記入してください。
6. 解答はかならず答案用紙（白色）に横書きで書いて、提出してください。下書き用紙（黄色）に書いた答案を提出しても受理しません。
7. 質問がある場合や気分が悪くなった場合には、手を挙げてください。
8. 試験終了後、答案用紙（白色）2枚のみを回収します。問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

以下の文章を読んで、後の問1、問2に日本語で答えなさい。

(この部分は、著作権の都合上、公開できません)

(この部分は、著作権の都合上、公開できません)

(藤原辰史『給食の歴史』による。)

- 問1. 下線部の「食を通じた自治空間創出の実験」とはどのようなことか。100 字程度で説明しなさい。
- 問2. 福祉、教育、国際政治など給食は多様な観点から論じることができる。比較文化論的観点から給食をどのように論じることができるか。具体的な事例をあげながら、あなたの考えを 600 字程度で説明しなさい。